



令和6年3月31日

発行 美保だいせん会
印刷 東京印刷株式会社

第26代司令に富崎1佐が着任

指導方針は「明るく、楽しく」

第3輸送航空隊司令兼ねて美保基地司令に富崎秀樹(とみざき ひでき)1佐が3月1日付で着任し、同日午前、基地体育館で着任式を執り行った。

正門を入った富崎新司令は、着任式に先立ち慰霊碑「天翔の碑」にて英霊を悼み、献花を行った。続く着任式で富崎新司令は、「この伝統ある美保基地の司令に着任できることを大変嬉しく思っており、美保基地の隊員一人一人が、基地の代表であるという気持ちを持って、それぞれの任務をしっかりと遂行したいのが、さらに地域の理



供花を手向ける富崎1佐

り、この任務を行うために隊司令部、飛行群、整備補給群、基地業務群がそれぞれに連携して業務に取り組んでいきます。昨今の国内外情勢を考えると、第3輸送航空隊が行う任務は、さらに重要になるとも、堅実さが求められると思います。このような時こそ第3輸送航空隊の各職場が明るく楽しく、隊員一人一人が明るく楽しく勤務することで、皆さんの業務に良い影響を与えたいと考えています。



基地司令離任式 落水田前司令は航空支援集団司令部へ

前美保基地司令・落水田(おとしだ)1佐の離任式を2月29日、基地体育館で執り行った。離任式で落水田前司令は、「僅か11ヶ月の任期に、転出に残念な思いはありますが、今の心境としては、就任から11ヶ月、ただひたすら走り続けてきた私と一緒に努力や協力をしてくれたいことに、心からの感謝の気持ちでいっぱいです。」



離任の辞を述べ答礼する落水田1佐

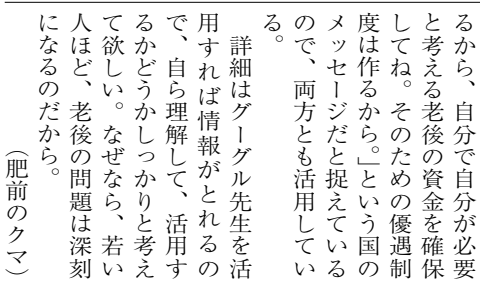
私の名前は、落ちる水田にモノが実ると書きます。その意味するところを、幼少の頃から、低いところに広がる水田に流れ集まる諸々のモノを束ねることだと教えられるうちに、すから、どんなに難しい案件でも、どんな人であってもしっかり向き合い、しっかりと解決する、あるいは育むということを信条としてこれまでやってきました。

「富崎1佐略歴」
第3輸送航空隊第403飛行隊長(美保)、防衛研究所(一般課程)(目黒)、航空幕僚監部運用支援・情報部運用支援課輸送室長(市ヶ谷)、特別航空輸送隊司令(千歳)、第2輸送航空隊司令(入間)、幹部候補生学校副校長(奈良)、航空開発実験集団司令部総務部長(府中)

今年の安全を祈願 「だるまの左目開眼」

令和6年の飛行初めに当たり、美保基地安全だるまの開眼行事が1月4日に第一整備格納庫で行われた。だるまの目入れに先立ち落水田美保基地司令が「元日の能登半島地震及び海保機の事故を受け、大変心苦しく思っています。美保基地も指揮所を立ち上げ活動を開始してくれています。引き続き可能な行動を積極的に展開していこうと考えているところです。昨年は4年ぶりの航空祭をは

じめ、KC-46Aの運用試験や在スーダン共和国邦人等輸送等の国外運航任務に加え、各種行事や教育訓練をしっかりと遂行し、その成果を確実に実感しながら国民や地域の皆様に信頼される存在であり続けることができました。その大いなる成果は、皆さんの努力の賜物に違いないと思っております。今年1年が基地にとり、そして皆さんや皆さんの家族にとって輝かしく健やかに充実したものとなるように、一丸となって取り組んでいきたいと思います。」(要旨)と訓示を述べた。



(肥前のクマ)



現在進行中の「少子化」という流れは、誰にも止めることのできないメガトレンドである。自衛官にとってその影響はどういったものがあるのだろうか。募集難や若手隊員の早期退職の増加など思いつく方も少なくないと思うが、今回は異なる視点で影響を話したいと思う。それは、将来の年金受給額が減る可能性があるということである。

今我が国が払っている年金(国民年金保険料)は、自分ではなく、その時の年金受給者に使用され、自分の年金は、将来の現役世代によって支払ってもらおうという現行の制度が継続する場合は、若手が減って老人が増えるということは、未来に行くほど、受給できる年金は減る可能性がある(念のために付言するが、支給額がなくなるわけではない)。

「年金」は厚労省やニサ(金融庁)という言葉を使っている。これは国家が個人投資を税制的に優遇し後押しする制度である。私自身は、「年金」は国民全員の老後を支えるのは限界があるから、自分で自分が必要と考える老後の資金を確保してね。そのため優遇制度は作るから」という国のメッセージだと捉えているので、両方とも活用している。

詳細はグーグル先生を活用すれば情報がとれるので、自ら理解して、活用するかどうかしっかりと考えて欲しい。なぜなら、若い人ほど、老後の問題は深刻になるのだから。

新春の集いで新年の挨拶

近況を踏まえて簡素に

令和六年美保基地新春の集いが1月18日(木)、基地食堂において開催された。例年は賀詞交歓会として行われていたものを、今年からは年頭に発生した能登半島地震を踏まえ、簡素な挨拶の場として新春の集いとした。

来賓には湯原俊二衆議院議員をはじめ、周辺自治体首長等と官公庁の代表の方々が、美保基地協力団体の会長等をお招きし、お集まりいただいた基地関係者や地域の皆様、そして基地主要幹部等の間で年頭の挨拶が交わされた。



冒頭、1月1日に発生した能登半島地震の犠牲者に追悼の意を表して黙とうを捧げた後、開会にあたり、落水田美保基地司令が、「今年度の干支は「きのえたつ」です。「きのえ」は十干の最初で生命や物事の始まりを意味し、「たつ」は活力が旺盛になる状態とされていることから、「きのえたつ」は、これまでの努力が成就する年と言われておりますが、美保基地としましては決して昨年の成果や今できることに満足することなく、成就するものがより盤石なものとなるよう、全隊員が一丸となって前向きに努力していく所存です。」(要旨)と新年の挨拶と決意を述べた。また、来賓代表の湯原議員からは、「国民の生命財産を守る任務に一生懸命ご尽力いただいていることに感謝しています。」(要旨)とお言葉をいただいた。



新年のあいさつを述べる落水田1佐

美保基地優秀隊員表彰

地域との交流に貢献した隊員3名が表彰



「自衛隊員として真摯に業務に精励するとともに、地域社会との交流に貢献している者」として美保基地協力が主催する優秀隊員の表彰式が12月11日、司令部庁舎小講堂において行われた。今年の表彰では施設隊稲井曹長、飛行場勤務隊小野2曹、検査隊石田3曹の3名が優秀隊員に選ばれ、奥森美保基地協力会会長から表彰状を受け取った。

稲井曹長は、境港市ソフトテニス協会に所属し大会運営の中心的な役割や中学生に対する技術指導を行うなど、スポーツを通じて地域社会との良好な信頼関係の維持向上に大きく貢献した。

石田3曹は境港市バドミントンクラブでの大会運営をはじめ、パラスポーツや清掃などのボランティア活動を通じて、地域社会との良好な信頼関係の維持向上に大きく貢献した。

表彰式は平成10年から実施されており、今年で25回目となる。今後も美保基地隊員の公私にわたる活躍を期待したい。

無事故管制160万回達成

美保管制隊は、令和6年1月5日11時4分、第3輸送航空隊第403飛行隊に所属するC-12輸送機の着陸をもって、無事故管制160万回を達成し、航空保安管制群司令から表彰を受けた。

達成を記念し、2月16日に当該操縦者を招き、記念セレモニーを行った。セレモニーでは、達成日の勤務員であった管制官、航空管制器材整備員、地上無線整備員及び電気整備員のほか、当該機の操縦者を紹介したのち全隊員で記念撮影を行うと、飛行安全の継続を祝うとともに今後も変わらない空地連携を再確認した。



業務開始から60年 無事故管制160万回達成

無事故管制の継続は、航空機の運航関係者のみならず、勤務環境や生活基盤の構築、補給調達、我々の家族を含めた福利厚生等、大勢の方々の多大なるご支援のおかげであり、書面をお借りして、厚くお礼を申し上げます。業務開始以来、60年という還暦を迎えた節目での達成でもあり、気持ちを新たに安全確保への意識を高め、最善を尽くす伝統を継承し、無事故管制を継続する所存です。

今後ともご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。 中本1曹(当該管制官)



今年度も除雪隊の活躍により基地機能が維持されました。

災害救助活動

「ヒエン号」今回も出動

1月1日に発生した能登半島地震に際し、災害派遣要員として災害救助犬の「ヒエン号」とハンドラーの出動した。



全国から集結したハンドラーと救助犬たち

田多1曹コンビをはじめとする多くの隊員が被災地へ出動した。ヒエン号は、令和元年に国際救助犬連盟の認定試験に合格し以降、災害救助犬として令和元年に発生した台風19号に伴う災害や、令和3年に静岡県熱海市で発生した土石流に伴う災害において出動し、安否不明者の捜索活動を行った実績がある。

今回の派遣について田多1曹は、「被災地は道路の至る所に亀裂があり、ガラスの破片が散在している。電気や上下水道も無い状況であった。捜索中は、ヒエン号がおいを嗅ぎやすいように風向きなども考慮した。がれきの上などでも積極的に登って助けてくれた」と被災地の状況やヒエン号の貢献ぶりを話してくれた。



倒壊した家屋で慎重に捜索する 田多1曹とヒエン号

除雪隊編成完結式を挙げる

24時間除雪態勢の確立

基地除雪隊の編成完結式が12月14日、燃料格納庫前エプロンにて行われた。編成完結式には基地所在部隊長、第3輸送航空隊各群司令のほか、鳥取県西部総合事務所長、大阪航空局美保空港事務所空港長、第八管区海上保安本部美保航空基地長、全日空(株)米子空港所長、米子空港ビル株式会社常務取締役を含めた8名の来賓をお招きし、報道関係者による撮影もある中で実施された。

訪れた報道陣に対し、基地除雪隊長西野2佐が任務遂行に対する意気込みを語った。美保基地だけでなく米子鬼太郎空港の機能維持の要となる除雪隊の活躍に、米子鬼太郎空港を利用する地域住民からの期待や注目が高まっている。

編成完結の申告を行い、落水田司令が「除雪隊が編成を完結した様子を目の当たりにして大変頼もしくかつ心強く感じている。基地機能そして飛行場、あるいは米子鬼太郎空港の安全な運用環境を維持するという重要な役割を果たすことに強い誇りや責任感、そして覚悟を持って挑んでくれることを期待します。」(要旨)と訓示を述べた。

最後に主要幹部、来賓、報道陣が見守る中、除雪隊車両による車両行進を行い、除雪隊編成完結式を終了した。その後、

故事成語

No.259 **菟系燕麦**
●名前ばかりで、中身がとまなない。
有名無実。



「菟系」とは...
「燕麦」とは...
「名前ばかりで、中身がとまなない。」
有名無実。



「サンタさ〜ん」と呼びかけると C-2の中からサンタとトナカイが現れた!!

今年もサンタがやって来た ～白兔・クリスマスドロップ2023～

米子・境港の幼稚園や保育園の園児約70名を招待して、「白兔・クリスマスドロップ2023」を12月19日、エプロン地区で実施し、寒さも吹き飛ばす園児たちの歓喜の声で賑わいを見せた。



園児一人ひとりにサンタからプレゼントが手渡された

園児らは、航空機がよく見える駐機場へ案内され、サンタ帽をかぶった司会が「今日誰が来るか知っていますか?」と問うと、園児らは「サンタさん!」と元気な声で答えた。その後、飛来したC-2が基地南側上空においてクリスマスプレゼントを投下すると、見事な狙いどおりの場所への着地に、その行方を興味津々に見守っていた園児たちから大きな歓声と拍手が沸き起こった。

その後、プレゼントを届けた後、サンタ達は持って来た大きな白い袋からお菓子を基地のグッズが入ったプレゼントを園児たち一人ひとりに手渡した。園児たちは、プレゼントのお礼にサンタ隊員達に向けたクリスマスソングを元気に歌った後、記念撮影や機体見学などサンタ隊員との交流を楽しみ、笑顔で基地を後にした。

1つ目は人です。人はかけがえない財産です。人と知り合い、頼りあったり助け合ったりする中で膨らんでいく財産です。その財産を膨らましていく中で成長していかけてください。2つ目は自分です。具体的には自分の考えや思いを大事にし、そしてそれらを自分の言葉で伝えることを大事にしてください。また、縦方向だけに成長しがちですが、人としての幅や奥行きもしっかりと身に着けながら大きく成長していかけてください。

美保基地及び美保通信所、美保分屯地で勤務している隊員19名が20歳を迎え、うち13名が1月23日に「はたちの集い」に参加した。はたちの集いには、基地司令をはじめ主要幹部及び所属部隊の隊長らが参加し、また鳥取県自衛隊家族会会長をはじめ、基地協力団体の会長等を含む8名の来賓の方々をお招きし、記念撮影と二十歳を迎えた隊員たちをお祝いする会食が行われた。

「皆さんが自衛隊員として、基地司令の道を選んだ事は国にとって大きな誇りです。多くの出会いと1つの努力の積み重ねがいつか必ず大きな実を結びます。多くのお会いを大切にしてください。関係構築を大切にしてください。(要旨)とのお祝いの言葉を頂いた。その後、美保通信所の國方陸士長に基地司令から記念品として「ふくさ」が贈呈され、成人を祝う盛大な拍手が送られた後、通信隊の川口空士長が「多くの方々への感謝を忘れず、謙虚な姿勢でこれからも航空自衛隊の発展に寄与していかけていきます。」(要旨)と謝辞を述べると会場は温かな拍手に包まれた。二十歳を迎える若手隊員の今後の活躍に期待したい。

美保基地隊員のはたちを祝う ～大きな節目を迎え～



基地協力団体の方々との記念撮影

「だいでん新聞」をご覧のみなさま、こんにちは!! 今回私が紹介する職場は、整備補給群整備隊 整備小隊検定分隊です。検定分隊長は、整備小隊長指導の3名で勤務しており、分隊員は計測器整備員で構成されています。一検定分隊は、整備小隊長指導の3名で勤務しており、分隊員は計測器整備員で構成されています。この春には、人事異動等でメンバーが大きく変わりますが、少数精鋭で日々精進していきます。「計測器?」と、難しく感じる方もいるかもしれませんが、そんなことはありません。私がいるのも、自分も適任者がいると感じているので、航空管制器材整備員としての職務を全うしたい。」と語っています。



謝辞を述べる川口士長

だいでん新聞をご愛顧の皆様、こんにちは。今回は、美保管制隊整備班・航空管制器材整備員の平田理久空士長を紹介いたします。美保管制隊は、美保飛行場(米子鬼太郎空港)及び周辺空域を飛んでいる航空機に対する管制業務に必要なレーダーを保有しており、彼はそのレーダーの整備員です。中学生の頃、ガンダムや戦車のプラモデル作りに興味を持って友人がおり、その影響を受けてメカニカルな物に興味を持ちました。高校では美術部に所属し、針金で形成した航空機の型枠に粘土をかぶせ、削り出す方法で模型を作成していましたが、完成させるたびに空



レーダーのアンテナを点検中

「だいでん新聞」をご覧のみなさま、こんにちは!! 今回私が紹介する職場は、整備補給群整備隊 整備小隊検定分隊です。検定分隊長は、整備小隊長指導の3名で勤務しており、分隊員は計測器整備員で構成されています。この春には、人事異動等でメンバーが大きく変わりますが、少数精鋭で日々精進していきます。「計測器?」と、難しく感じる方もいるかもしれませんが、そんなことはありません。私がいるのも、自分も適任者がいると感じているので、航空管制器材整備員としての職務を全うしたい。」と語っています。

飛ぶ機体の形状に魅了され、またその機能美に理解を深めていたそう。大学は工学部機械工学科を専攻し、大学卒業後に自衛隊のパイロットを目指しました。惜しくも3次試験で夢破れましたが、実際に操縦する試験まで進めたので悔いは無く、「パイロットには中学生の頃から興味はあったものの、今の仕事にもや

仕事もプライベートも充実している平田士長をよろしくお祈りします。(美保管制隊・古家曹長)

職場紹介 整備隊 整備小隊検定分隊 いつも「明るい」職場です

「だいでん新聞」をご覧のみなさま、こんにちは!! 今回私が紹介する職場は、整備補給群整備隊 整備小隊検定分隊です。検定分隊長は、整備小隊長指導の3名で勤務しており、分隊員は計測器整備員で構成されています。この春には、人事異動等でメンバーが大きく変わりますが、少数精鋭で日々精進していきます。「計測器?」と、難しく感じる方もいるかもしれませんが、そんなことはありません。私がいるのも、自分も適任者がいると感じているので、航空管制器材整備員としての職務を全うしたい。」と語っています。



気軽にお声掛けください!

「だいでん新聞」をご覧のみなさま、こんにちは!! 今回私が紹介する職場は、整備補給群整備隊 整備小隊検定分隊です。検定分隊長は、整備小隊長指導の3名で勤務しており、分隊員は計測器整備員で構成されています。この春には、人事異動等でメンバーが大きく変わりますが、少数精鋭で日々精進していきます。「計測器?」と、難しく感じる方もいるかもしれませんが、そんなことはありません。私がいるのも、自分も適任者がいると感じているので、航空管制器材整備員としての職務を全うしたい。」と語っています。

仕事もプライベートも充実している平田士長をよろしくお祈りします。(美保管制隊・古家曹長)

家庭訪問

第405飛行隊 楠瀬3佐宅の巻 「初めての鳥取県を満喫」

留守にしがちな私に代わって家事を切り盛りしてくれています。長男は中学校から野球を始めました。当初はぎこちなかったキャッチボールも、いつの間にか私の手が痛くなるほどの強い送球をするようになり、父親として頼もしい限りです。長女は所謂「箸が転んでもおかしい年頃」であり、天真爛漫とした性格で家庭を明るくしてくれています。住ま

初めて鳥取県民になったばかりで右も左も分からない状態ではありますが、休日には県内だけでなく、山陰地方の隅々まで足を運んでいこうと考えています。12月には鳥取県に行き、修復作業のために長期間の閉館となる仁風閣を見学しました。春になったら雪解け後の大山への登山も計画しており、インドア及びア

ウトドアの両面で「初めての鳥取県を満喫」しようと考えています。冬季における山陰地方の寒さに負けないように、職場では熱心に働き、課業後は温かい家庭を築きたいと考えていますので、皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。
(第405飛行隊・楠瀬3佐)

だいせん新聞をご覧の皆様こんにちは、第405飛行隊の楠瀬3佐です。昨年12月に小牧基地・第404飛行隊から転属してきました。美保基地の門を跨ぐのは防衛大学の研修以来であり、まだまだ不慣れですが、精一杯職務を果たしていきたいと考えています。私の家庭は妻の咲樹、長男の慶晃(中1)及び長女の咲良(小4)の4人家族です。妻は我が家の軸であり、出張や単身赴任で家を



仁風閣前で記念撮影



まつぼっくり、聖心幼稚園、近隣の方々と共に

餅つき行事を支援

境港市岬町の社会福祉法人「まつぼっくり」(理事長 足立統一郎氏)で12月14日(木)、年末恒例の餅つき行事が開かれ、美保基地からは准曹会員をはじめとする有志10数名が参加した。

餅つきは、まつぼっくりの方々と聖心幼稚園の園児たち、近隣に住む関係者の方々が参加して交流を深め

た。餅つきに先立ち、園児たちによる合唱が大きな声で披露されると、会場は和やかな雰囲気になりました。引き続き、落水田美保基地司令からは、自衛隊に対する日頃からの理解と協力に対する感謝の言葉が述べられた後「餅つきは、みんなで行う共同作業だから仲良く、なつたり絆を深めたりするものです。今日隊員のみならず、今日隊員のみならず、仲良く一緒に楽しませよう。との挨拶がなされた。その後、落水田司令をはじめ、聖心幼稚園の園児や

まつぼっくりの皆さんと参加した隊員ら全員で餅をつき、3つの臼が休まることはなかった。また、餅つき経験のない隊員に対して奥森美保基地協力会会長がお手本を見せつつ指示される場面も見られた。

子どもたちは、どうして石が好きなんだろ? 家の周りの毎日の散歩でも、初めて行った遠くの公園でも、外に出かけるとお気に入りの石を見つけて、拾ってきて。いつの間にか玄関は石ころだらけで。もつと不思議なことは、いつとここで拾った石なのかをしっかりと覚えておくこと。きつと、子どもたちの眼には、大人には見えない輝きが見えているのだから。

美保基地から東へ約40km、東伯郡琴浦町。鳥取県の中部に位置する海辺の穏やかな地に、鳴り石の浜「花見海岸」があります。ここ



カラコロと今にも音が聞こえてきそうですね。

子どもたちは、どうして石が好きなんだろ? 家の周りの毎日の散歩でも、初めて行った遠くの公園でも、外に出かけるとお気に入りの石を見つけて、拾ってきて。いつの間にか玄関は石ころだらけで。もつと不思議なことは、いつとここで拾った石なのかをしっかりと覚えておくこと。きつと、子どもたちの眼には、大人には見えない輝きが見えているのだから。

美保基地から東へ約40km、東伯郡琴浦町。鳥取県の中部に位置する海辺の穏やかな地に、鳴り石の浜「花見海岸」があります。ここ

だいせん新聞をご覧の皆様こんにちは。気象隊の岩田士長です。今回は私の地元である沖繩県糸満市について紹介いたします。

まず最初に糸満市は県内でも数少ない昔ながらの雰囲気がある場所です。空港がある那覇市から近く気軽に観光できます。ひめゆりの塔や、平和祈念公園などの観光スポットも

あります。沖繩県糸満市は、沖繩県糸満市です。沖繩県糸満市は、沖繩県糸満市です。沖繩県糸満市は、沖繩県糸満市です。

ふるさとパンガイ
~沖繩県糸満市~
気象隊 岩田 士長

あり、糸満ハーレーなどの伝統行事も盛り込まれています。観光地として足を運ぶ人も多い場所ですが、糸満は沖繩かまぼこの発祥の地と



三枚肉などと一緒に本ソーキを召しあがれ

桃の花

春をお祝いするかのように、ピンクや白に色づく桃の花。
花言葉は「チャーミング」「天下無敵」など。

家族紹介

可愛で国宝級!?

皆さんこんにちは! 広報班の和田3曹です。今回は我が家のアイドルともいえるペットについて紹介させていただきます。一匹目は、スコティッシュフォールドの「みらいくん」です。たれ耳にピンクの鼻、そして、その横の黒の模様がチャーミングポイントです。昨年の7月頃にお迎えした時から、お腹を上にして寝るのが好きな、人懐っこい猫ちゃんです。自分から運動するようなタイプではありませんが、後からお迎えした、マンチカンの「ふうくん」の後ろを付いていく姿を見かけます。

次に、マンチカンの「ふうくん」についてです。ふうくんは昨年の11月にお迎えしたばかりで、触ろうとすると逃げてしまうくらいです。しかし、ご飯の時だけは近寄ってきて、お皿を置いて遠端にすぐには食べきってしまいがちです。みらいくんと比べると、運動が大好きで、部屋の中をよく走り回っており、走るふうをみ



マンチカンのふうくん



スコティッシュフォールドのみらいくん

みらいくんは、昨年の11月にお迎えしたばかりで、触ろうとすると逃げてしまうくらいです。しかし、ご飯の時だけは近寄ってきて、お皿を置いて遠端にすぐには食べきってしまいがちです。みらいくんと比べると、運動が大好きで、部屋の中をよく走り回っており、走るふうをみ

みらいくんは、昨年の11月にお迎えしたばかりで、触ろうとすると逃げてしまうくらいです。しかし、ご飯の時だけは近寄ってきて、お皿を置いて遠端にすぐには食べきってしまいがちです。みらいくんと比べると、運動が大好きで、部屋の中をよく走り回っており、走るふうをみ

みらいくんは、昨年の11月にお迎えしたばかりで、触ろうとすると逃げてしまうくらいです。しかし、ご飯の時だけは近寄ってきて、お皿を置いて遠端にすぐには食べきってしまいがちです。みらいくんと比べると、運動が大好きで、部屋の中をよく走り回っており、走るふうをみ